

■ 未来へつなぐエネルギーの活用
本道が有する豊富な再生可能エネルギーの活用を加速するとともに、ゼロカーボン北海道を担う産業の振興を図ります。

(政策展開の方向性)
 高いポテンシャルを持つ洋上風力の整備に向け、道内での促進区域や基地港湾の指定を目指した取組を進めます。また、エネルギー効率の向上に資するメイドイン北海道の次世代半導体の実現に向けて取り組み、グリーン水素をはじめCCUSなど新たな技術の活用、バイオマスや太陽光発電など地域の再生可能エネルギーの活用を加速しながら、ゼロカーボン北海道を担う産業の振興を図り、我が国のエネルギーミックスの実現に貢献します。原発は、安全性が確保されることが大前提であり、再稼働については原子力安全規制委員会の厳正な審査を踏まえ総合的に判断します。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
原子力安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道地域防災計画（原子力防災計画編）の修正により、原子力防災体制の充実強化【R5：1回、R6：1回、R7：1回修正予定】 ○原子力防災訓練を実施し、関係機関の連携、防災技術の向上促進【R5：1回、R6：1回、R7：1回実施予定】 ○各種広報誌を関係自治体世帯等へ配布し、原子力防災対策等の知識の普及・啓発を促進【関係自治体の全戸へ配布 R5：2回、R6：2回、R7：2回配布予定】 ○安全協定に基づき設置する泊発電所環境保全監視協議会で定めた計画に従い、環境モニタリングを実施し、結果の公表を実施【R5：4回、R6：4回、R7：4回公表予定】 ○原子力発電関係団体協議会を通じて原子力施設の安全対策や原子力防災対策の強化について、国へ要請【R5：2回、R6：2回、R7：3回実施予定】 	0104
循環型社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○環境に配慮したライフスタイル・ビジネススタイルの定着に向け、3Rの推進等、各種普及啓発のほか、循環資源利用促進税を活用した排出抑制等に係る設備整備支援などを推進 ◇産業廃棄物の排出抑制、減量化又はリサイクルや循環経済の促進に取り組む道内の中小企業、地域又は団体が主催するリサイクル啓発講座などに対し技術的、専門的な助言やリサイクルに関する講演などを行うリサイクルアドバイザーを派遣し、その取組の支援 	0309

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書(「○～」)、道ホームページ等(「◇～」)より引用・作成

<p>省エネ促進・新エネ導入 拡大</p>	<p>○省エネの促進と新エネルギーの導入拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立分散型エネルギーシステム導入や地域マイクログリッドなどの構築を支援【R4：6件、R5：7件、R6：8件】 ・新エネの設備導入を支援【R4：1件、R5：9件、R6：13件】 ・コーディネーター派遣による市町村の新エネルギー導入を支援【R4：35市町村、R5：35市町村、R6：18市町村】 ・地熱・温泉熱の利活用に関するアドバイザーを派遣【R4：7件、R5：5件、R6：5件】 ・環境・エネルギー関連の技術開発等への支援による、省エネルギー・新エネルギーの開発・導入に資する製品・サービスを提供する環境関連産業の振興【技術開発補助：R4：2件、R5：2件、R6：3件】【道外展示会出展支援：R4：19社、R5：19社、R6：19社（延べ社数）】【専門家による伴走支援：R6：5社】 ・北海道GX推進税制の運用を開始【R7.4～】 ・事業者や金融機関、関係団体を対象とした、北海道GX推進税制など支援制度の説明会を開催 <p>○風力発電の取組促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋上風力発電の導入促進に向け、住民説明会等や全道セミナーを開催 ・技術系教育機関における進路啓発として出前授業、バスツアーを実施 ・道内中小企業に対し、洋上風力の建設やメンテナンスに必要な専門知識や技能、資格を取得するために要する経費を補助【R6.8～R7.6：3件】 	<p>0507</p>
---------------------------	---	-------------

<p>環境・エネルギー産業の振興</p>	<p>○コーディネーター派遣による市町村の新エネルギー導入を支援【R5：35市町村、R6：18市町村】 ○省エネルギー・新エネルギーの開発・導入に資する製品・サービスを提供する環境関連産業の振興に向け、環境・エネルギー関連の技術開発等への支援を実施 【技術開発補助 R5：2件、R6：3件】 【道外展示会出展支援 R5：19社、R6：19社（延べ社数）】 【専門家による伴走支援 R6：5社】 ○参入促進に向けた検討会開催や水素サプライチェーンプロジェクトの構築支援の実施により、水素関連産業の形成を促進 【ビジネス検討会開催 R5：6回、R6：6回】 【国等のFS採択（実証案件）を目指すPJ構築支援 R5：1件、R6：2件】 【上記以外の道内ポテンシャル調査PJ構築支援 R5：2件、R6：1件】 ○再エネ海域利用法に基づく「有望区域」に指定された道内5区域のうち2区域（檜山沖、岩宇・南後志地区沖）において法定協議会（3回）を開催し、促進区域の指定にあたっての利害関係者との調整や地域・漁業との共存・共栄策を協議 ◇「松前沖」及び「檜山沖」が、再エネ海域利用法に基づく「促進区域」に本道で初めて指定【R7.7】 ○洋上風力発電の導入促進に向け、住民説明会等や全道セミナーを開催 ○技術系教育機関における進路啓発として出前授業、バスツアーを実施 ○道内中小企業に対し、洋上風力の建設やメンテナンスに必要な専門知識や技能、資格を取得するために要する経費を補助【R6.8～R7.6：3件】 ○道民や市町村、事業者、関係団体等を対象とした支援制度の説明会やフォーラム・セミナー等を開催 ○北海道GX推進税制の運用を開始【R7.4～】 ○事業者や金融機関、関係団体を対象とした、北海道GX推進税制など支援制度の説明会を開催 ◇苫小牧沖が全国初のCCS事業の特区域に指定【R7.2】 ◇苫小牧地域で2030年度までの事業化を目指すCCUS事業について、国が示したロードマップに沿って、事業化に向けた支援措置を国へ要望【R7.5】 ◇石炭資源と他の地域エネルギーを組み合わせた地産地消型エネルギーの供給システムづくりの検討に向け、北海道石炭有効活用研究会を開催【R7.10】 ◇クリーンコール技術等の普及活動に向け、クリーンコールパネル展を実施【R7.8】 ◇クリーンコール技術の開発促進に向け、国に要望を実施【道要望：R7.5、石炭対策連絡会議：R7.6】</p>	<p>0508</p>
<p>災害にも活用できるエネルギー事業環境整備</p>	<p>○海底直流送電ケーブルの着実な整備、再エネ導入拡大のための電力基盤増強、電力インフラのレジリエンス強化に向けた取組の推進について国への要望を実施【R7.5】 ○災害時における円滑な燃料供給に向け重要施設情報の更新を実施</p>	<p>0509</p>

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書（「○～」）、道ホームページ等（「◇～」）より引用・作成

デジタル関連企業の集積	<p>○国内外のデータセンター事業者や投資家に向けて、冷涼な気候や豊富な再生可能エネルギーなどの北海道の立地環境をPRするセミナーを東京都で開催した【R7.1】ほか、シンガポールで海外事業者との商談会を実施する【R7.2】など、本道へのデータセンターやデジタル関連企業の誘致に繋げる取組を促進</p> <p>○デジタル関連を中心とした首都圏企業の開発拠点の誘致や本社機能移転の促進等に向けたセミナーを東京都で開催した【R6.10】ほか、首都圏のデジタル関連企業と道内の大学や自治体等との連携を促進し、道内地域のより詳細な情報をPRするマッチングイベントを東京都で開催する【R7.2】など、デジタル関連企業の誘致に繋げる取組を促進</p>	0510
半導体関連産業の振興	<p>○ラピダス社の水利用に関し、住民の安全・安心を確保するため、「Rapidus株式会社の水利用に関する協定」を締結【R7.1】</p> <p>○半導体関連産業の集積を図るため、半導体に関する全国的な展示会への出展（国内3カ所、海外1カ所）や、道内企業の半導体関連産業への参入促進・取引拡大を目指した参入促進セミナー（3回）を開催</p> <p>○若年層の半導体や半導体関連産業への理解を深めるため、高校向け出前講座（25校（うち2校は教育庁事業））や小中学校向け体験教室（16校）を開催</p> <p>○道民の理解促進を図るため道内14カ所で道民向けセミナーを開催</p> <p>○半導体産業に係る複合拠点の実現のため、北大や札幌市等と連携して研究・人材育成等を実施</p> <p>◇半導体の製造、研究、人材育成等が一体となった複合拠点の実現とともに、食や観光、再生可能エネルギーなど本道の強みである産業振興と合わせて、本道経済全体の成長に結びつけていくための指針となる「北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン」を策定【R6.4】</p> <p>◇ラピダス社のパイロットライン立ち上げ【R7.4】、2nm半導体のGAAトランジスタ試作成功【R7.7】</p>	0511
宇宙航空産業の振興	<p>○宇宙航空産業への投資の呼び込みやスタートアップの促進に向けて、国内外の宇宙・航空分野の最新情報の提供や人との繋がり場の創出、人材確保のほか、海外需要の獲得を支援するとともに、航空機関連産業への参入促進に向けた取組支援</p>	0514
スタートアップ創出・集積の促進	<p>○起業に関心のある社会人等を対象としたビジネスアイデアを創出するワークショップの開催</p> <p>【BASIC PROGRAM：オンラインで計5日間で開催、延べ100人参加】</p> <p>【IDEA PROGRAM：道内5カ所2日間で開催、延べ143人参加】</p> <p>【ADVANCED PROGRAM：5名選考しオンライン+対面により計3回実施】</p> <p>○事業計画策定から投資家とのマッチングまで一貫した伴走支援の実施</p> <p>○オープンイノベーションプログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道内自治体等とスタートアップのマッチングによる実証実験への支援を実施 ・計3社とマッチングし実証実験への支援を実施 <p>○スタートアップ・ビザ取得者への定着支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外起業家を対象とした申請前から入国後の定着までの支援【定着支援者数：15名】 <p>○札幌・北海道スタートアップ・エコシステムのPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道外の投資家等を集めたPRイベントの開催【道内3地域、延べ600名以上、参加国：18カ国以上】 	0515

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書（「○～」）、道ホームページ等（「◇～」）より引用・作成

<p>企業誘致の推進・集積の促進</p>	<p>○豊富な再生可能エネルギーや冷涼な気候といった本道の立地優位性をアピールしながら、トップセールスやセミナーの開催、展示会への出展、企業訪問などの誘致活動を促進【セミナー・展示会等（トップセールスを含む）～R6:20事業、企業訪問～R6:1,040件】</p> <p>○苫小牧東部開発連絡協議会及び石狩湾新港地域開発連絡協議会（共に道が事務局）として、国に対し、当該地域の開発に関し、基盤整備の推進や各種プロジェクトの導入促進などについて要望活動を実施</p>	<p>0516</p>
----------------------	--	-------------